

様式例 12 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：令和元年8月5日

評価者：建設緑政局指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	富士見公園南側（川崎富士見球技場他）
指定期間	平成27年4月1日～令和2（平成32）年3月31日
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総括マネジメント業務 ・運営業務 ・維持管理業務 ・自主事業業務
指定管理者	名称：川崎フロンターレ・東急コミュニティー共同事業体 代表者：代表取締役社長 藁科 義弘（川崎フロンターレ） 取締役社長 雑賀 克英（東急コミュニティー） 住所：川崎市高津区末長四丁目8番52号（川崎フロンターレ） 東京都世田谷区用賀四丁目10番1号（東急コミュニティー）
所管課	建設緑政局みどりの企画管理課（内線：40711）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

評価項目		事業実施状況等					
1	市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。	●利用者数					
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		川崎富士見球技場	利用者数	85,998	81,105	87,900	94,865
			観客数	84,576	115,825	105,990	98,382
			合計	170,574	196,930	193,890	193,247
		かわQホール利用者数	56,312	55,267	62,631	58,419	
		富士見球場利用者数	9,100	8,240	5,760	4,890	
		駐車場 精算台数	第1駐車場	19,479	19,395	19,364	49,850
			第2駐車場	22,275	22,269	22,258	26,503
			合計	41,754	41,664	41,622	76,353
		はぐくみの里来場者数	9,590	6,732	9,252	13,600	
		合計	287,330	308,833	313,155	346,509	
<p>川崎富士見球技場の平成27年度の来場者は約17万人であったが、その翌年から19万人を超えており、屋外型施設の利用者数に関しては天候に左右される部分も多いが、安定的に高い利用率となっている、また、はぐくみの里の来場者数は平成27年度比で141%となった。</p> <p>かわQホールについては、毎年開催していた催し物の中止による影響によって利用者が減少した。</p> <p>富士見球場については、大会の開催回数に影響を受けやすく昨年度は開催数が減ったため利用者にも影響した。</p>							

●利用者満足度

年 度		H27	H28	H29	H30
対 象 数		36	497	660	1,381
回 答	施設の利用しやすさ	—	77%	57%	68%
	公園の管理	66%	83%	82%	74%
	公園の手入れ	—	89%	72%	87%
	公園の安全性	—	66%	72%	76%
	公園の清掃	—	78%	87%	90%

平成 30 年度に 1,300 人に実施したアンケートでは、施設の利用しやすさを評価した回答が 68%となり、前年度より 11%増加している。また、公園内の手入れ、安全性及び清掃については、満足以上の回答が前年度より増加している。

総じて、現指定管理者となってからの評価は高い水準を維持している。

●維持管理について

施設・設備の維持管理については、適切な保守・点検を行っているほか、コミュニティガーデン「はぐくみの里」において、ボランティアが開催するイベントの補助や意見交換を行い活動が円滑に行われるようにサポートを行っている。

清掃業務については、利用者の利便性を考慮し、各施設の利用されていない時間帯に適宜実施するとともに、毎日 2 度の巡回清掃のほか、イベント開催時には必要に応じ再清掃を行うなど、清潔な美観と快適に利用できる環境づくりを実施している。

2 当初の事業目的を達成することができたか。

事業目的 抜粋

富士見公園を「緑」「活気」「憩い」「ふれあい」のある都会のオアシスにする。

●各施設の稼働率の更なる向上により、ヒトの回遊性を高める。

→川崎富士見球技場、かわQホールとも利用率は上昇している。また、富士見公園南側全体を使ったイベントも実施している。

●様々な集客企画により賑わいを生み出す

→自主事業において、様々な年代や親子で参加できる教室やイベントを実施している。

●施設の開放性を高めて誰もが気軽に利用できる環境を整える。

→HPやツイッターなどのSNSを使用し、施設の空き状況をお知らせしているほか、積極的にスポーツ団体や学校関係を誘致し、スポーツ大会の開催を定着させるなど利用率を増加させている。

3 特に安全・安心の面で問題はなかったか。

職員の配置を適切に行い、計画的な点検及び維持補修を実施している。また、事故が発生した場合には、迅速かつ的確に対応できるように取組をおこなっている。具体的には、連絡体制の確保、AED講習の全職員受講、AEDの毎日点検、ヒヤリハットマップや事例集を作成し事務所内で危険個所の等の事例の情報共有、消防局・地域と連携した消防訓練の実施等

4 更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。

現在も利用者アンケートを行っているが、その結果を施設運営に反映させるために、アンケートの調査方法、対象者、標本数等の精査を実施し、的確に反映できるようにすることが必要である。

富士見公園全体の魅力の向上のために、民間企業のノウハウによる提案を引き続き活用していく必要がある。

老朽化した施設も多くあることから、長寿命化や安全の確保のため、日常的な点検及び修繕を計画的に行っていく必要がある。

また、都会のオアシスのような近隣の人々が気軽に来園し、安心してくつろげるような

	空間づくりについても検討していく必要がある。
--	------------------------

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																																
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<p>1 所管課は、指定管理者からの月次報告、四半期報告、年度報告に基づき管理運営状況の確認を行い、必要に応じて業務改善や効率化の指示を適切に行っている。また、定期的に現地調査にて施設の維持管理状況を確認し指定管理者と協議調整を行っている。</p> <p>2 苦情や事故があった場合には、管理者が迅速・適切に対応するとともに所管課に報告・連絡・相談することを指導し実践させている。</p> <p>上記のことから、所管課によるマネジメントは適正に行っている。</p>																																																																
2	制度活用による効果はあったか。	<p>1 サービス面での効果について</p> <p>指定管理者制度を導入することにより、民間の技術的・経営的能力を発揮し、</p> <p>①アメフトの魅力や集客向上だけでなく、ラクロスや障害者スポーツなど様々なスポーツ大会の誘致を行い、開催につなげている。</p> <p>②地元町内会と連携した盆踊り大会の開催や防災訓練の実施など、地元に還元できるような事業を実施している。</p> <p>③自主事業において様々な年代、親子や障害者が参加できる教室やイベントを実施している。</p> <p>④コミュニティガーデン「はぐくみの里」において、ボランティアが開催するイベントの補助や意見交換を行い活動が円滑に行われるようにサポートを行っている。</p> <p>以上のことから市が直営で実施するよりも効果的・効率的に事業が実施されている。</p> <p>2 収支等の効果について</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center; vertical-align: middle;">収入</td> <td>川崎富士見球技場</td> <td style="text-align: right;">82,182</td> <td style="text-align: right;">82,634</td> <td style="text-align: right;">78,773</td> <td style="text-align: right;">74,017</td> </tr> <tr> <td>かわQホール</td> <td style="text-align: right;">2,201</td> <td style="text-align: right;">5,291</td> <td style="text-align: right;">6,937</td> <td style="text-align: right;">16,188</td> </tr> <tr> <td>富士見球場</td> <td style="text-align: right;">409</td> <td style="text-align: right;">414</td> <td style="text-align: right;">393</td> <td style="text-align: right;">393</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td style="text-align: right;">71,435</td> <td style="text-align: right;">68,688</td> <td style="text-align: right;">68,688</td> <td style="text-align: right;">68,688</td> </tr> <tr> <td>自主事業</td> <td style="text-align: right;">8,587</td> <td style="text-align: right;">9,340</td> <td style="text-align: right;">12,442</td> <td style="text-align: right;">10,987</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,780</td> <td style="text-align: right;">2,578</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">166,594</td> <td style="text-align: right;">168,945</td> <td style="text-align: right;">167,233</td> <td style="text-align: right;">170,273</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">支出</td> <td>維持管理運営費等</td> <td style="text-align: right;">109,221</td> <td style="text-align: right;">113,502</td> <td style="text-align: right;">105,979</td> <td style="text-align: right;">107,686</td> </tr> <tr> <td>自主事業</td> <td style="text-align: right;">2,332</td> <td style="text-align: right;">1,492</td> <td style="text-align: right;">2,040</td> <td style="text-align: right;">1,503</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">111,553</td> <td style="text-align: right;">114,994</td> <td style="text-align: right;">108,019</td> <td style="text-align: right;">109,189</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収支差額</td> <td style="text-align: right;">55,041</td> <td style="text-align: right;">53,951</td> <td style="text-align: right;">59,214</td> <td style="text-align: right;">61,084</td> </tr> </tbody> </table> <p>収支差額について、川崎富士見球技場及びかわQホールについては制度導入前よりも収入は増加しており、また、自主事業も好調なことから指定管理制度導入 4 年目で収入が最高となった。市への納付金についても指定期間年平均約 1 千万円となっている。</p> <p>かわQホールについては、前年度比で 232%となっているが、企業の展示会等に貸出を行ったことが大きな要因となっている。</p>		項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	収入	川崎富士見球技場	82,182	82,634	78,773	74,017	かわQホール	2,201	5,291	6,937	16,188	富士見球場	409	414	393	393	駐車場	71,435	68,688	68,688	68,688	自主事業	8,587	9,340	12,442	10,987	その他	1,780	2,578	0	0	合計	166,594	168,945	167,233	170,273	支出	維持管理運営費等	109,221	113,502	105,979	107,686	自主事業	2,332	1,492	2,040	1,503	合計	111,553	114,994	108,019	109,189	収支差額		55,041	53,951	59,214	61,084
	項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度																																																													
収入	川崎富士見球技場	82,182	82,634	78,773	74,017																																																													
	かわQホール	2,201	5,291	6,937	16,188																																																													
	富士見球場	409	414	393	393																																																													
	駐車場	71,435	68,688	68,688	68,688																																																													
	自主事業	8,587	9,340	12,442	10,987																																																													
	その他	1,780	2,578	0	0																																																													
	合計	166,594	168,945	167,233	170,273																																																													
支出	維持管理運営費等	109,221	113,502	105,979	107,686																																																													
	自主事業	2,332	1,492	2,040	1,503																																																													
	合計	111,553	114,994	108,019	109,189																																																													
収支差額		55,041	53,951	59,214	61,084																																																													

3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	球技場のスタンドについては、4年前に新築工事を行った比較的新しい施設であるが、球技場内の照明灯、得点板及び緑地内の公園灯、遊具などは老朽化しており、再編整備までに時間がかかり、今後も多くの修繕が予想されることから、経費の負担等について検討する必要がある。経営努力による指定管理者の純収益が大きいため、納付金の増額や、更なる市民サービス向上につながる提案を求めることなどについて精査する必要がある。
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	指定管理者制度を導入したことで、利用者を増加させ、民間のスポーツ施設運営のノウハウを活用し、効果的・効率的に事業を実施し、施設の維持管理も水準書以上に適切に行われていることから、引き続き指定管理者制度の活用が適当であると考えます。

4. 今後の事業運営方針について

富士見公園は、平成20年3月に策定された整備基本計画では、「緑」「活気」「憩い」「ふれあい」のある都会のオアシスにすることを目標としており、これは、現在の指定管理者の事業目的でもある。

富士見公園南側は平成27年度より指定管理者制度を導入したが、この間、指定管理者の持つ運動施設運営のノウハウを活かしアメフトの魅力の伝達や集客力向上に向け、地域や近隣施設と連携しながら積極的にイベント等の開催に取り組み、その効果を発揮している。

また、樹木の剪定やトイレ清掃等の維持管理については、利用者のニーズに応じて迅速な対応を行っているほか、地域のコミュニティガーデンである「はぐくみの里」においては、ボランティア活動が円滑に行われるように運営サポートを行い、イベントの来場者を増やすなど、指定管理者制度導入以前に比べて、地域のふれあいの場を盛り上げている。

上記の内容から、今後の運営としては引き続き、民間企業のノウハウを活かし、サービス水準の向上を目指すとともに、効率的・効果的な管理運営を行うことが必要である。

また、制度導入前のサービスと同等以上の水準で事業を行いつつ、市へ納付金を納めてもらうことによって、川崎区の公園の維持管理経費への充当が図られている。

こうしたことから、富士見公園南側は、今後も指定管理者制度を継続していくことが妥当である。

なお、富士見公園は再編整備の途中であり、指定管理期間中も市の施策等で施設等が変更となることも予想されることから、指定管理者と毎年締結する協定において協議を行っていく必要がある。